

自立は行動力、自律は選択力

教育者の森信三氏は、「あいさつ・返事・履き物をそろえる」ことを大切にしました。

毎日の当たり前を自分から行うことが、人としての土台をつくると考えたのです。この教えは、「自立」と「自律」を育てる実践でもあります。

「自立」とは、言われるのを待たずに動く力、つまり「行動力」です。宿題に取りかかる、約束を守る、困っている人を手伝う。**自分の足で一步を踏み出す姿勢が自立です。**

一方で「自律」とは、どう動くかを自分で決める「**選択力**」です。楽な道と努力する道があったとき、どちらを選ぶか。**感情に流されず、よりよいと思う方を選び続ける力が自律です。**

行動力だけでは続きません。選択力があるからこそ、正しい方向に努力できます。けれど大人が「押しつけ」てばかりでは、その力は育ちません。**自分で考え、選び、やってみる経験が必要です。**

今日の言霊：選び動いて育つ

ここで伝えたいのは、**前に進む力と、進む方向を決める力は別だ**ということです。自分から動けても、目標があいまいなら努力は長続きしません。だからこそ、何を大切にするかを考え、自分で決める習慣が重要になります。

日々の生活の中で、**小さなことでも自分で判断する経験を重ねることが、将来の大きな決断につながります。**また、周囲の大人がすべてを指示してしまうと、考える機会が失われます。**失敗も含めて自分の選択として引き受ける経験が、人を成長させます。**

自ら一步を踏み出し、自ら道を選ぶ。その積み重ねが、自信と責任感を育て、ぶれない自分をつくっていくのです。それがこれからの社会を生き抜く確かな土台になります。

【今回の学び】⇒小さな決断の積み重ねが大きな力となる！



自立は行動力、自律は選択力

教育者の森信三氏は、「あいさつ・返事・履き物をそろえる」ことを大切にしました。

毎日の当たり前を自分から行うことが、人としての土台をつくると考えたのです。この教えは、「自立」と「自律」を育てる実践でもあります。

「自立」とは、言われるのを待たずに動く力、つまり「行動力」です。宿題に取りかかる、約束を守る、困っている人を手伝う。**自分の足で一步を踏み出す姿勢が自立です。**

一方で「自律」とは、どう動くかを自分で決める「**選択力**」です。楽な道と努力する道があつたとき、どちらを選ぶか。**感情に流されず、よりよいと思う方を選び続ける力**が自律です。

行動力だけでは続きません。選択力があるからこそ、正しい方向に努力できます。けれど大人が「押しつけ」てばかりでは、その力は育ちません。**自分で考え、選び、やってみる経験が必要**です。

今日の言霊：選び動いて育つ

★問題一（語句の意味） 本文における「自律」の意味として最も適切なものはどれか。

- ア 他人の指示に従って正しく行動する力
- イ 感情のままに自由に行動する力
- ウ 自分で考え、よりよい道を選び続ける力
- エ 周囲に合わせて無難に行動する力

★問題二（内容理解）本文によれば、「自立」とはどのような力を指すか。

- ア 困難を避けるために慎重に様子を見る力
- イ 言われる前に自分から動く行動力
- ウ 周囲と協力して物事を進める調整力
- エ 感情を抑えて冷静に話し合う力

★問題三（内容理解） 本文の内容に合うものはどれか。

- ア 行動力があれば、選択力は必要ない。
- イ 自律は大人が厳しく管理することで育つ。
- ウ 選択力があるからこそ、努力は正しい方向に向かう。
- エ 自立よりも自律の方が価値が高い。

★問題四（内容理解） 筆者が大人の関わり方として適切でないと思われるものはどれか。

- ア 子どもに考える機会を与えること
- イ 子どもが選ぶ経験を重ねさせること
- ウ 大人が一方的に押しつけ続けること
- エ 子どもの行動を見守ること

★問題五（記述）本文によれば、自立と自律を育てるために必要な経験とは何か。四十文字程度で答えよ。

【模範解答】

問題一 解答 ウ

○ 自律は自分で考え感情に流されずよりよい道を選び続ける選択力を指す語であり他人任せではない力である。

★問題二 解答 イ

○ 自立とは言われるのを待たず自分から宿題や約束に取り組むなど主体的に動く行動力を意味すると述べられている。

★問題三 解答 ウ

○ 本文では選択力があるからこそ努力が正しい方向に向かうと述べ行動力だけでは続かない点を強調している。

★問題四 解答 ウ

○ 大人が押しつけてばかりでは自立も自律も育たず自分で考え選び行動する経験が必要だと本文は説いている。

★問題五 模範解答

自分で考え選び行動してみる経験

○ 解説 本文は自立と自律を育てるには自分で考え選択し実際に行動する経験が不可欠であると述べている。

ここで伝えたいのは、前に進む力と、進む方向を決める力は別だということです。自分から動けても、目標があいまいなら努力は長続きしません。だからこそ、何を大切にするかを考え、自分で決める習慣が重要になります。

日々の生活の中で、小さなことでも自分で判断する経験を重ねることが、将来の大きな決断につながります。また、周囲の大人がすべてを指示してしまうと、考える機会が失われます。失敗も含めて自分の選択として引き受ける経験が、人を成長させます。

自ら一步を踏み出し、自ら道を選ぶ。その積み重ねが、自信と責任感を育て、ぶれない自分をつくっていくのです。それがこれからの社会を生き抜く確かな土台になります。

【今回の学び】⇒小さな決断の積み重ねが大きな力となる!

